国際記者証（IPC）発行申し込みについて

**１**　次ページIPC発行申し込み書にご記入の上、PDFでメールに添付し下記アドレスにお送り下さい。

メールタイトル　国際記者証発行申し込み　　　　　送付先　NAPA@shimbunroren.or.jp

**２**　初めて記者証を作成する方は必ずパスケースとセットでお申し込み下さい。二回目以降は任意です。

**３**　作成に必要な以下の①～⑪個人情報（含む写真）をデータで労連あてに送付して下さい（データがな

いと作成できません）**別紙のエクセルファイルをご使用ください。**

①漢字表記姓名（②と同一姓名の漢字表記）

②**パスポートに印字されているローマ字姓・名**（この姓・名がIPCに印字されます）

③生年月日　④国籍　⑤（緊急連絡先）　自宅住所と電話番号　もしくは　職場住所と電話番号

⑥顔写真　横2.5センチ縦３センチくらいに加工いたします。脱帽とか背景に指定はありませんが、パスポートや運転免許証用に撮るような感じでお願いします。**カード保持者とカード写真が同一人物とわかる必要があります。**

⑦英語表記の所属＝朝日新聞社国際報道部　とかを英語で

⑧パスポート番号と有効期限（任意）　⑨メールアドレス　⑩本人の携帯電話番号　⑪派遣先国（任意）

**４**写真をメールに**添付**する際の**ファイル名**は**②と同じローマ字表記**でお願いします。IFJの担当者が誰の写真か、間違いなくわかるようにするためです。**（例：写真ファイル名「YAMADA TARO」は〇　「山田太郎」は×）ZIPファイル、解凍パスワード付きファイル添付は不可！です。**

**５**　IPCの有効年数は２年間です。

**６**　お申し込み締め切りは8月12月を除いて毎月１５日正午（データ、写真、申込書）です。１５日正午までに頂けましたら、月内にお渡しできるスケジュールです。１５日が土、日、日本の祝祭日にあたる場合は、その**直前の平日**にIFJに送ります。

＜発行までの流れ＞

労組から労連にお申し込み（申し込み用紙＋個人情報＋写真）→労連から労組に確認連絡→１５日労連からIFJにまとめてデータと写真送り→IFJから労連に請求書→労連送金→ＩＦＪ入金確認・IPC見本作成→労連（各自）確認OK→IFJカード実物作成・発送→労連到着

カードが労連に到着したら、労連から労組に郵送→各自カードに直筆でサイン（カード完成）→労連から労組に請求書送る→労組から労連に振込　で、すべてが完了です。

★自然災害、紛争などによりスケジュール的に厳しい時期があるかもしれませんので、準備はお早めにお願いいたします。

IPC発行申し込み

日本新聞労働組合連合　御中

以下の組合員に、IFJの国際記者証の発行をお願いいたします。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 　お　名　前　 | IPC申し込み | カード | パスケース |
| 例 | 　労連　新子 | 初めて　２回目以降 | 〇 | 〇 |
| 1 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 2 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 3 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 4 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 5 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 6 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 7 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |
| 8 | 　 | 初めて　２回目以降 | 　 | 　 |

初めて記者証を作成する方は必ずパスケースとセットでお申し込み下さい。二回目以降は任意です。

申し込み年月日　　　　　年　　　月　　　日

（　　　　　　　　　　）労働組合

委員長　（　　　　　　　　　　）　　　　　印